

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	グループホーム内での災害対策には、利用者と職員が一体となって取り組むことができているが、地域住民の十分な協力を得ることができていない。	災害時に地域住民の協力が得られるような体制を作る。	運営推進会議の機会を利用して避難訓練等を行い、地域の方々に参加してもらう。	6 か月
2	8	権利擁護に関する制度の理解が十分ではない。	日常生活自立支援事業や成年後見制度などの権利擁護に関する制度について深く知る。	いろいろな業種の方に教えていただきながら、制度の内容を深く知り、必要な方につなげていく。	12 か月
3	14	同業者と交流する機会が多くない。	同業者との交流を深め、活動を通じてサービスの質の向上を図る。	近隣の福祉施設との交流を頻繁に行い、見学・参加を通して勉強していく。	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。